

家庭科学習指導案

平成29年11月21日（金）第5校時（調理室）6年1組 指導者

I 単 元 愛着をもって使おう－消費生活－

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

家族の一員としてよりよい生活の実現に向けて、物や金銭を大切に使ったり、購入に必要な情報を活用したりして、物の選び方、買い方を工夫しようとする態度

①知識・技能

物や金銭の使い方、物の選び方、買い方についての基礎的な知識と、それらに係る技能

②思考力・判断力・表現力等

物や金銭の使い方、物の選び方、買い方について問いを見出し、解決する力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

C 消費生活と環境 (1) 物や金銭の使い方と買物

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。

(イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。

イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。

(3) 本題材の学習とその価値

本題材では、購入に必要な情報を活用し、生活で使う身近な物の選び方、買い方を工夫する学習をする。その価値は、以下のとおりである。

健康で豊かな生活を送るために、わたしたちは日々の生活の中で金銭を支払って商品やサービスを購入し、それを消費している。そのため、生活を営む上で商品やサービスの購入は欠かすことができないものである。現代社会では、これらの商品やサービスがあふれ、一人一人が生涯にわたって健康で豊かな生活を送るためには、その中から自分にとって適切な物を選択したり、正しい情報を見極めたりできるようにすることが大切である。

文房具や学用品は子どもたちにとって生活を営む上で必要な身近な物であり、実際の購入経験も多い。その中の1つとして日常的に使っているペンケースの模擬購入をすることは、自分の消費生活を具体的に想起することにつながる。また、中に入れる筆記具の数に合わせて大きさや形の選択をする必要性が生まれるため、収集・整理した情報をもとに、物の必要性や購入後の活用について繰り返し考えることにより、物や金銭の大切さや計画的な使い方について実感を伴って理解することができるとともに、値段や内容量、材質など様々な情報を収集・整理することができるようになる。

また、自分や家族が購入したい物の購入計画を考えたり、それを振り返ったりすることは、こ

れまで学んだことを基に、実生活の中で工夫することになり、身に付けた知識、技能や、物や金銭を計画的に使おうとする意欲をさらに高めることにつながる。そして、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、購入前に必要性を熟考することや、購入後に十分に活用して最後まで使い切ることなどの消費者の役割を意識することができるようになり、生活をよりよく工夫しようとすることになる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、中学1年「身近な消費生活と環境」で、持続可能な社会の構築に向けて、環境に配慮した消費生活について考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、6年「附属小ミシン工房」において、生活を豊かにするための布を用いた物を考え、ミシンを用いた直線縫いで手提げバッグの製作をする学習に取り組んできた。その際、製作に必要な布の量を考え、製作に用いる材料を購入してきた。そして、製作をした手提げバッグを学校や習い事で活用したり、新たに材料を購入し、生活を豊かにする布を用いた物の製作を行ったりしてきている。

これらの学習や生活経験の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① ゆとりのもたせ方を試行した結果と、目標とする見本のゆとりとを比較して評価したことを話合ってゆとりのもたせ方を修正し、布を用いた手提げバッグの製作に必要な知識と、それに係る技能を身に付けてきた。このような子どもたちが、物や金銭の使い方、物の選び方、買い方についての基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けることができるように、模擬購入で目的に合わせて購入した理由を話し合う活動を設定する。
- ② 不織布とクリップを用いた試しの手提げバッグの製作から、自分の布を用いた製作へと段階的に製作をし、物を出し入れしやすいゆとりやミシン縫いの仕方を考えられるようになってきている。このような子どもたちが、必要な物の選び方や買い方を考えられるように、ペンケースの模擬購入から、自分や家族が購入したい物の購入計画へと段階的に活動を設定する。
- ③ 目標とする状態とよりよい生活を実現するための方法を求める課題「物を出し入れしやすく、入れたい物に合った手提げバッグをつくるには、どのようなことができればよいのだろう」を追究し、ミシンを用いて入れたい物に合った手提げバッグの製作をすることへの興味・関心を高めてきた。このような子どもたちが、物や金銭の使い方、物の選び方や買い方への興味・関心を高められるように、課題「物やお金を大切に使うためには、どのような選び方や買い方をするとよいのだろう」を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 模擬購入において自分の目的に合ったペンケースや文房具を選んだ理由を話し合うこと
通して、物を購入するために必要な情報を収集・整理する必要性がわかる。
- 2 準備 ペンケース 文房具
- 3 展開

| 学習活動と子どもの意識 | 指導上の留意点 |
|--|--|
| <p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物やお金を大切に使うための買い方を考えるために、ペンケースや文房具の購入をするのだな。 <p>2 購入するペンケースや文房具を選び、選んだ理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、たくさんの文房具が入るペンケースがいいから、値段が高いけど大きな物を買いたいな。 ・中に物がたくさんあると使いたい物がすぐに取り出せなくて、使いづらいかな。 ・必ず入れておきたいのは、赤ペンと消しゴム、定規を1つずつと、鉛筆が5本くらいかな。 ・普段使う物だけが入れば、大きな物は必要ないな。それなら、値段も安くなるし、必要な他の文房具も買えるな。 ・友達が一番安いペンケースだけ選んで、残りのお金は貯金するのか。お金を貯めて使うことは考えてこなかったけど、そういう買い方も大切だな。 ・人によってお金を使ったり、物を選んだりするときに大切にすることは違うけど、たくさんのことから自分の中で大切にすることをよく考えた買い方をすることが大切だな。 <p>3 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と選んだ理由を伝え合ったから、目的に合った物を購入するために必要な情報を集めたり、整理したりしながら、買う前によく考えることが、物やお金を大切に使う買い方だとわかったよ。他の物でも選び方や買い方を考えてみたいな。 | <ul style="list-style-type: none"> ○互いの買い方を比較して物やお金を大切に使うための買い方を明らかにするという目的意識をもてるように、前時にもった活動の見通しを問いかける。 ○購入する物を決めるための情報を収集できるように、表示を見たり、実際に手にしてみたりするよう促す。 ○購入する物を決めるための情報を整理できるように、購入するペンケースや文房具とそれを選んだ理由を記述する学習プリントを用意する。 ○購入する物が決まらない子どもには、自分なりに検討する内容を明確にもてるように、使用目的や中に入れる文房具の量を問いかける。 ○多様な情報を基に購入する物を決める買い方に気付けるように、「無駄にならない」の視点に照らしてグループ内で選んだ物と、その理由を伝え合うよう促す。 ○目的に合わせて必要な情報を収集・整理することの必要性を理解できるように、買い物の際に大切にすることを問いかける。 <div data-bbox="794 1323 1401 1585" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">目的に合わせて購入するために必要な情報を収集・整理する必要性について記述したり発言したりしている。</p> <p style="text-align: right;"><学習プリント・発言①></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○物やお金を大切に使うための買い方を明らかにできるように、模擬購入で見いだした買い方のよさや課題を学習シートに記述するよう促す。 ○次時に自分や家族が購入したい物の購入計画を立てようとする意欲を高めることができるように、物を購入するために必要な情報を収集・整理する必要性に気付けたことを賞賛する。 |

指導と評価の計画（全5時間）

| | | | | |
|--------------------------------------|--|---|--|---|
| 目標 | 物や金銭の使い方，物の選び方，買い方が分かり，購入するために必要な情報の収集・整理が適切にでき，身近な消費生活をよりよくしようと工夫することができる。 | | | |
| 評価 規準 | (① 知識・技能)物や金銭の使い方，物の選び方，買い方が分かり，物を購入するために必要な情報を収集・整理することができる。 (②思考力・判断力・表現力等)物や金銭の使い方，物の選び方，買い方について問いを見出し，物の選び方，買い方を考え，工夫している。 (③主体的に学習に取り組む態度)物や金銭の使い方，物の選び方，買い方に興味をもつとともに，物を長く大切に使用したり，金銭を計画的に使用したりしている。 | | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価項目<評価方法（観点）> |
| 見 つ め る ・ つ か む | 1 | ○物や金銭の使い方，物の選び方，買い方について疑問点や調べたいことを話し合い，課題をつかむ。 課題：「物やお金を大切に使うためには，どのような買い方をするとよいのだろう。」 | ○物や金銭の使い方，物の選び方，買い方に興味をもって疑問点や調べたいことを考えられるように，自分の持ち物で大切に使用している物とそうでない物を分ける場を設定する。 | ◇物や金銭の使い方，物の選び方，買い方について疑問点や調べたいことを記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言③＞ |
| | 1 | ○学習計画を立てる。 | ○物や金銭を大切に使うための物の選び方，買い方を明確にするための活動について見通しをもてるように，物や金銭の使い方を検証するための活動や条件について話し合う活動を設定する。 | ◇物を長く大切に使う使い方や，金銭の計画的な使い方，必要な物の選び方，買い方を明らかにする活動や条件について考え，計画を記述したり発言したりしている。＜学習プリント・発言②＞ |
| 追 究 す る | 1 | ○ペンケースの模擬購入をする。（本時） | ○目的に合わせて購入するために必要な情報を収集・整理できるように，購入するペンケースに関する情報や選んだ物とその理由を記述できる学習プリントを用意する。 | ◇目的に合わせて購入するために必要な情報を収集・整理する必要性について記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言①＞ |
| | 家庭 1 | ○自分が購入したい物を考えたり，家族が購入したい物を調査したりする。 ○自分や家族が購入したい物の購入計画を立てる。 | ○自分や家族が購入したい物の選び方，買い方を考えられるように，商品に付けられた表示やマークの意味を示す資料を提示する。 | ◇自分や家族が購入したい物を購入するために必要な情報を収集・整理する仕方を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞ |
| ま と め る ・ 広 げ る | 家庭 | ○自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり，それを基に実際に購入したりする。 | | |
| | 1 | ○自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理した感想や，それを基に実際に購入したことについて話し合う。 | ○物を長く大切に使用したり，金銭を計画的に使用したりする意欲をさらに高められるように，話合いの観点として「計画的に購入するよさ」を提示する。 | ◇自分や家族が購入したい物について必要な情報を収集・整理したり，実際に購入したりしたことの感想を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言③＞ |